

イヌワシ

学名	Aquila chrysaetos (Linnaeus,1758)	
目名	タカ目	
目名学名	FALCONIFORMES	
科名	タカ科	
科名学名	Accipitridae	
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： I B (EN)



[選定理由]

全国に400～500羽程度生息するが、九州、四国、中国西部では生息個体数が少なく、絶滅の危機に瀕している。森林の伐採、開発などにより全国的に生息数、繁殖率が低下している。県内では、繁殖活動が見られなくなっている。

県内分布	くじゅう山系に生息する留鳥。
分布域	北海道から九州の低山から高山に生息する留鳥。
世界的分布	朝鮮半島で留鳥、中国東北部では冬鳥、シベリア北部では夏鳥、シベリア南部では留鳥。
生息環境	山地の森林と草原が組み合わさった環境に生息する。崖地の岩棚などに営巣し、開けた場所で、ウサギ、キジ、ヘビなどを捕食する。
現状	県内には1ペアが生息していたが、1983年以降一度も繁殖に成功していない。1996年以降は営巣活動が見られなくなり、ペアで飛ぶ姿も見られなくなった。
備考	亜種イヌワシ(A. c. japonica)は、日本と朝鮮半島の固有亜種で、ニホンイヌワシと同じ。国内希少野生動植物種、天然記念物。種イヌワシは、ワシントン条約附属書II。希少鳥獣。